

平成22年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費
 1 項 商業費
 2 目 商業振興費

経済通商総室(内線:7890)
 (単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考												
				国庫支出金	起 債	そ の 他	一般財源													
鳥取県建設業 新分野進出支 援事業	55,247	55,223	24			69 <雑入>	55,178													
トータルコスト	76,224千円 (前年度 77,593千円) [正職員:2.6人 非常勤職員:3.9人]																			
主な業務内容	普及啓発、相談対応、計画策定支援、補助金申請の審査、交付決定																			
工程表の政策目標(指標)	建設業の公共事業依存から脱却																			
<p>説明</p> <p>1 事業の概要 建設事業者等が公共事業依存からの脱却を目指して行う新分野進出の各種取組対し、相談から事業化まで一貫した支援を行う。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) 建設業新分野進出アドバイザー設置事業 (13,754千円) 企業OB等の専門職員が建設事業者等の新分野進出の相談及び県内企業の経営課題に対応した支援施策の紹介などを行う。(経営相談窓口相談員も兼務)</p> <p>(2) 建設業新分野進出事業補助金 (40,000千円) ・H21交付決定分 (8,000千円) ・H22新規分 (32,000千円) 建設事業者などが行う新分野進出の取組について、各段階(進出検討、事業化実現)ごとに支援を行う。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業区分</th> <th>内 容</th> <th>補助率</th> <th>限度額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>進出検討型</td> <td>新分野進出の検討に当たって、事前の可能性調査・先進事例の取組視察等に要する経費の一部を助成</td> <td>2/3</td> <td>100万円</td> </tr> <tr> <td>事業化実現型</td> <td>新分野事業の商品開発に向けて行う、商品企画・開発・評価や、商品・サービスの販路開拓や人材育成・雇用に要する経費の一部を助成</td> <td>2/3</td> <td>300万円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 建設業情報発信事業 (351千円) 新分野進出を検討している建設事業者を対象に、新分野進出へ向けた検討方法などの講演及び既に新分野進出を行っている事業者による事例発表を行うセミナーを開催する。</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点 新分野進出の実績が伸び悩んでいる状況であることから、事業者のニーズ把握などに基づき、更に実効性のある助成制度への変更を検討していく必要がある。</p> <p><前年度からの主な改善点></p> <ul style="list-style-type: none"> 進出検討型の細事業である「先進的取組視察・研修事業」について、単独での申請も可能とする。 より事業者が分かりやすく、利用しやすい制度とするため、支援メニューを3段階(進出検討型⇒企画開発型⇒事業化支援型)から、2段階(進出検討型⇒事業化実現型)に統合する。 									事業区分	内 容	補助率	限度額	進出検討型	新分野進出の検討に当たって、事前の可能性調査・先進事例の取組視察等に要する経費の一部を助成	2/3	100万円	事業化実現型	新分野事業の商品開発に向けて行う、商品企画・開発・評価や、商品・サービスの販路開拓や人材育成・雇用に要する経費の一部を助成	2/3	300万円
事業区分	内 容	補助率	限度額																	
進出検討型	新分野進出の検討に当たって、事前の可能性調査・先進事例の取組視察等に要する経費の一部を助成	2/3	100万円																	
事業化実現型	新分野事業の商品開発に向けて行う、商品企画・開発・評価や、商品・サービスの販路開拓や人材育成・雇用に要する経費の一部を助成	2/3	300万円																	